

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
110011	XXX1110011			国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報文化学科	基礎	選択	1年
地球環境論	澤口 晋一	2	後期	情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	基礎	選択	1年

授業目的

地球環境問題に特化する。地球環境問題はアプローチの仕方によって国際政治・経済、法学といった分野とも密接に関わってくるが、この講義ではそうした方面からではなく、まず、どこで何が起こっているのかを発生メカニズムを踏まえて具体的に解説した後、その問題に対する(国際)社会の対応と成果および課題、といった順番で説明する。これによって地球環境問題の体系的な把握が可能となり、客観的なアプローチが可能とすることを目的とする。取り上げるのは、地球温暖化、オゾン層の破壊、生物多様性、酸性雨と大気汚染、核燃料サイクルの5項目である。

各回毎の授業内容

第1回

【授】「地球システム」と地球環境問題
【前・後】事後：配布資料の確認

第2回

【授】地球環境問題の発生とその構造
【前・後】事前・事後：配布資料の確認

第3回

【授】地球環境問題に関する国際社会のこれまでの取り組み
【前・後】事前・事後：配布資料の確認

第4回

【授】地球環境問題としての核燃サイクル①
【前・後】事前・事後：配布資料の確認

第5回

【授】地球環境問題としての核燃サイクル②
【前・後】事前・事後：配布資料の確認

第6回

【授】地球環境問題としての核燃サイクル③(福島第一原発事故による環境汚染)
【前・後】事前・事後：配布資料の確認

第7回

【授】地球環境問題としての核燃サイクル④(福島第一原発事故による環境汚染)
【前・後】事前・事後：配布資料の確認

第8回

【授】地球環境問題としての核燃サイクル④(被ばくとは何か)
【前・後】事前・事後：配布資料の確認

第9回

【授】地球温暖化①
【前・後】事前・事後：配布資料の確認

第10回

【授】地球温暖化②
【前・後】事前・事後：配布資料の確認

第11回

【授】地球温暖化③
【前・後】事前・事後：配布資料の確認

第12回

【授】オゾン層の破壊
【前・後】事前・事後：配布資料の確認

第13回

【授】生物多様性①(生物多様性はなぜ必要か、生物多様性条約)
【前・後】事前・事後：配布資料の確認

第14回

【授】生物多様性②(熱帯林の破壊と生物多様性の危機)
【前・後】事前・事後：配布資料の確認

第15回

【授】酸性雨、PM2.5
【前・後】事前・事後：配布資料の確認

第16回

【授】試験

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	60	10	10				80
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	20						20
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

教科書参考書

授業にて紹介する。

受講に当たっての留意事項

毎回、パワーポイントを用いた授業を行う。毎回カラー刷りの資料を配布する。なお、資料は毎週、翌週使用するものを配布するので、それを確認し予習しておくことが望ましい。授業中のスマート操作は厳禁とする。

学習到達目標

現在、問題となっている地球環境問題を体系的に把握し、自己の行動をいかにすべきかを考えられるようになること。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習